

事業名称	姫路おでんといえば〇〇！実現プロジェクト
団体名・代表者	特定非営利活動法人 コムサロン二十一 代表者 理事 前川 裕司
協働の相手方	姫路市企画政策推進室、産業振興課

目的	ご当地グルメ「姫路おでん」を更に普及定着させてゆくために、食べ方の名物から、おでん店でも提供しやすい新たな魅力あるおでん種を市民からアンケートを集め、人気のおでん種を決定し、更にそのメニューを各お店でも提供していただき、観光客も楽しんでいただけるように、市民参加型プロジェクトで名物おでん種づくりに取り組んでいく。
内容	しょうが醤油で食べるおでんがご当地グルメ「姫路おでん」として有名になったが、観光客にとっても魅力ある、姫路固有のおでん種を再発見し、具材の魅力でも PR できるようになれば姫路おでんの魅力も更に高めることができると取り組みました。市民に、自分がすすめる姫路のおでん種として、アンケートを集め、人気投票等によって市民に選ばれた具材を PR し、また、姫路おでんの加盟店でも取り扱っていただくことができるように呼びかけ、試食会を開催し、普及させていきます。 決定したおでん種と取り扱い加盟店は、姫路おでんの公式サイトに掲載し、観光客のおでん店への誘導も図り、姫路の観光客へのサービスとおでん店の振興につなげていきます。
事業経過	新たな魅力あるおでん種を市民に募集し、アンケートの結果、101 件が集まりました。その結果、人気のおでん種が「かんべえレンコン棒」に決定しました。網干の勘兵衛地区でとれるレンコンをチップにして練り上げたれんこん棒であり、官兵衛の采配棒を模した形になっています。次の取り組みとして姫路地産地消フェアに出展し「かんべえレンコン棒」を市民に PR しました。姫路マラソンでも PR 試食提供しよう準備をしましたが、コロナウィルスの影響で中止となり、加盟店に呼びかけ試食会を実施しました。普及 PR 活動の結果、加盟店舗でかんべえレンコン棒の提供店は、5 店舗となりました。 姫路おでんの公式サイトに、かんべえレンコン棒を食べることのできるお店も紹介して、観光客のおでん店への誘導も図り、姫路の観光客へのサービスに繋げています
事業の効果	姫路市民の勧めおでん種として、アンケートを募集し、市民の姫路おでんに対する関心を、今一度高めることができた。また、決定したおでん種「かんべえレンコン棒」を市民が選んだお勧めおでん種として PR し、姫路おでん加盟店 5 店舗でも提供いただけるようになり、姫路の名物おでんダネとして基盤拡充、普及定着への取り組みに貢献できた。
今後の展望	今後の姫路おでん普及活動については、推薦おでん種として、「かんべえレンコン棒」を必須アイテムとしても、PR していくことで姫路おでん普及委員会と協議し承得ています。また、さらに取り扱い加盟店を増やしてゆくために、PR を続けていきたいと考えています。

【実施団体の事業総括・感想等】

「静岡おでんの黒はんぺん」、「沖縄おでんのテビチ（豚足）」など、有名ご当地おでんでは、おでんの具材でも、魅力あるものがあるなかで、姫路おでん市民が選んだお勧めおでん種「かんべえレンコン棒」として、PR できることは、姫路城の黒田官兵衛とともに相乗効果もあって実施意義がありました。
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

（企画政策推進室） 市民アンケートを参考に、市民お薦めのおでん種を決定されたことは、市民をあげてさらに姫路おでんを盛り上げようという機運づくりに役立ったのではないかと思います。地元産の食材を使ったおでん種であり、姫路おでんの魅力を発信することで、市の魅力発信にもつながると考える。今後、取り扱い店舗を増やし、市内外へのさらなる PR に努められることに期待したい。 （産業振興課） おでん種の人気投票を実施することで、市民に姫路おでんについて今一度関心を持ってもらう一助となった。その中で地元の食材を活かした「かんべえレンコン棒」が、市民が選ぶお勧めおでん種に選ばれたということで、今後市民に愛着を持ってもらうことはもちろん、姫路の名物として観光客に普及定着できるような取り組みを期待し、行政としても必要な支援を行っていきたい。
